

越谷市立増林小学校

稲作体験



第5学年

特色

- 学校応援団の方の水田をお借りして、田植えや稲刈りの体験をしている。田植えの機械を使わずに、昔ながらの植え方を直接教わっている。
- 収穫したもち米は、バザーで好評の「のし餅」あんこ餅」「きな粉餅」等の品物になり販売している。

児童の感想

- 田に入った感触はあまりよくなかったが、自分たちで植えた苗が秋にはたくさんの実をつけてお米になったのでとてもうれしかった。
- 昔は、苗を一本ずつ植えていたけど、今は機械を使って作業時間が短縮していることがわかった。

成果

- 農家の仕事に触れる機会だけではなく、田植えをしたり、稲刈りをしたりして、昔の作業の体験を通して、キャリア教育の一助となっている。
- 米の収穫の喜びとともに、農家の苦勞と食の大切さを理解することができた。